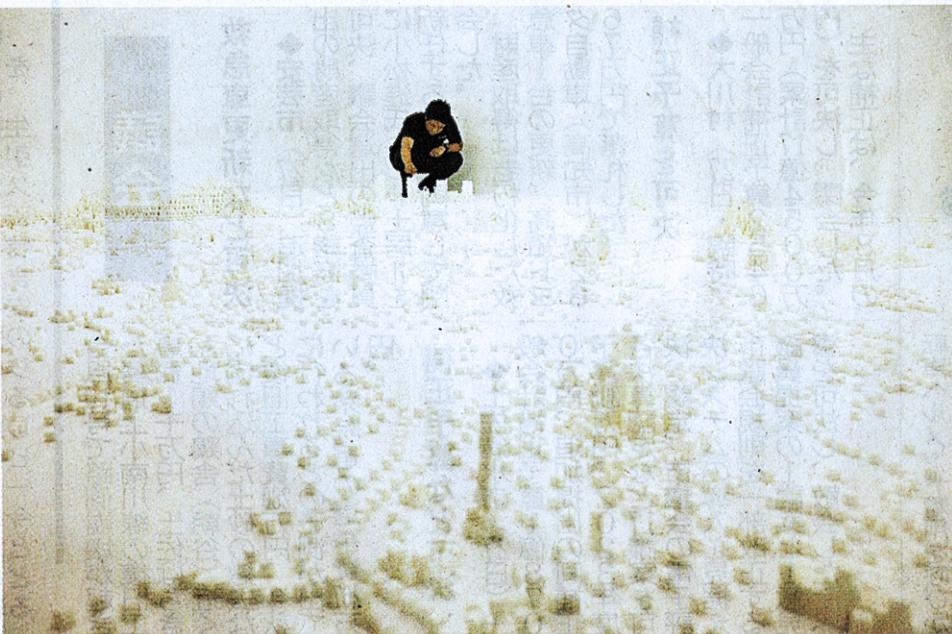


王は生観 割を出乍難の けなす屋ら 入白折立尊さ



▲料。 来場者が角砂糖を積み上げて大月町を作るアート作品
大月町小才角のCOSA

山本さんは「この場所には何があったかな」と作品に参加しながらコミュニケーションを深めてほしい」とし、展示後に取り壊す一過性の作品を「記憶にとどめてもらいたい」と話している。

会場には、ピストルの部品を裁縫でかわいらしく作り、天井から吊り下げたユニークな作品も並ぶ。午前10時～午後4時、入場無料。

(坂本由出)

美術館で30日まで

てきた。6年前には撮影中にクマに襲われて重傷を負つたが、「毎年、毎日違う顔を見せてくれる。仕事に完

【宿毛】大月町小才角の創作・交流拠点COSAで現代アート展が開催される。角砂糖を積み上げて作られた大月町の町並みや、刺しゅうが施されたス

ルメなど県外の作家や学生らの約20作品が展示されている。29日まで。

角砂糖の大月町は、嵯峨美術大学(京都市)の山本直樹教授(61)が手がけた。約3万5千個を使い、山や風力発電の風車などを築いた。展示室にはまだ並べられていない角砂糖が用意され、来場者は自由に町並みを作ったり、変更できる。



角砂糖で作る大月町 現代アート展に20作品 あすまで